



「コミュニティユニオン東京」ニュース NO117号 2019年10月25日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

CU東京 活動者会議を一泊で開催 経験に学び・交流 秋の組織拡大の成功、1500人決意固めあう



五十嵐名誉教授の講演を学ぶ



宿・「ごかばし」前で

初めての一泊活動者会議40人で開く

10月14、15日、CU東京は初めて一泊活動者会議を40人の参加で、秩父・横瀬町のせせらぎの宿・ごかばしで開きました。会議は、支部活動の交流、組合員の交流、CU東京の到達と「存在感」を全体のものに、月間成功、1500人実現の意思統一を目的に開きました。

五十嵐名誉教授の講演で情勢の理解深め

五十嵐名誉教授は、「参院選の結果と労働組合運動の課題」と題し講演。与党は「勝った」の報道は、自民党の後退が実態、野党共闘の威力と展望を示した。政治転換への労働組合の役割、組織された力、影響力の拡大などを指摘しました。

参加の9支部が活動と経験を報告

支部から築いてきた到達と努力している点など報告、経験・成果に学びあいました。ちよだからは外資系の相談が目白押しの状況や、事務所の確保が課題になっていること。三多摩からは、12人の相談員で分担し対応していること、仲間を増やし、財政基盤を安定させることが必要だと報告されました。

夕食・交流会…食堂を貸し切って

川村副委員長の音頭で乾杯、五十嵐名誉教授、共産党の近藤都労働部長を交え懇親を深めました。長野の親戚が台風19号で被害を見舞ってきたという江戸川支部の宮澤書記長も夕食時に到着、状況を伝

えました。文京の書記次長の湯本さん（青年劇場の女優）は、「組合活動は大変大事、若い役者さんに組合の助け合い知ってほしいと思う。青年劇場の芝居を見て下さい」とアピールしました。

分散会で膝を交え、身近に学ぶ

4つの分散会では、膝を交え、支部活動、相談活動、交流会・レクなど交流しました。分散会のまとめ報告では、「仲間がいるだけで幸せ」「闘うこと

によって変わってくる」「レクも大きい事やりたい」「DVDはCU版をつくらう」「若い人をどう迎えるか」「組合リーフの活用」など紹介されました。



207室・分散会

秋の月間成功させ、年内1500人組合実現を

拡大月間の成功に、文京・小川さん、こうとう・新野さん、三多摩・佐藤さん、本部・小倉さんの各委員長が決意表明。三多摩の佐藤さんは「この会議がきっかけになる。三多摩の大会で初めて闘った保母さんが感動的な報告をした。大会で300人に道筋をつけた。さらに前進をつくる」と発言。

中野の菊地書記長は「支部報告は具体的な活動を知ることができ、とても勉強になった。分散会でさらに実践的に深めることができ、中野でも取り入れたいと思った」と感想を寄せました。

東京地評が第18回定期大会開く



9月29日、東京地評第18回定期大会が開かれました。代議員202人、来賓含め310人が参加、27人が発言しました。CU東京から代議員として、平山、川村両副委員長、宮本書記次長が参加。平山副委員長が、CU東京への協力にお礼をのべ、労働環境悪化の中でのCU東京の社会的役割、労働相談体制を確立、相談を解決し成果を上げてきたこと、組織を確実に増やしてきたと発言しました。

CU東京 拡大数・実増で3年連続表彰

組織拡大でCU東京は拡大数、実増の2部門で表彰されました。2部門の表彰は3年連続になります。東京地評人事では、議長に荻原さん、事務局長に新しく井澤さん、CU東京から小倉委員長が幹事に選出されました。自交総連都東京都本部が東京地評に加入しました。

全労連加盟単産地域協議会第2回定期総会開く

10月14日、東京労連から東京地評内の組織、全労連加盟単産地域協議会に移行した、同協議会の第2回定期総会が開かれました。CU東京から寺川副委員長が代議員として参加、発言しました。

寺川副委員長は、組合員を組織する幅の広がり、労働相談の積極的な取り組み、決起集会、一泊会議の開催など秋の拡大について発言しました。



【国会でも共同広げ 超党派の集会】

地域別最低賃金について「地域間格差是正、めざせ1500円」を掲げる集会に与野党5党の国会議員有志が参加し激励しました。全労連などの呼びかけた集会にこれだけ幅広い超党派の議員が集まるのは初めてです。組合員ら220人が参加。演壇に自民、立憲民主、共産、社民の議員が並びました。

最賃宣伝 10月から東京は1013円！
あわせて、時給1500円と全国一律最賃制の必要性を訴え



訴えるCU品川佐藤書記長

【JR大崎駅南口】

10月1日（火）18時から45分、JR大崎駅南口でCU品川支部は品川労協と共同で最賃ビラ配布宣伝。当日は5組合8人で340枚の「今日から、東京では最賃1013円になりました」の東京春闘共闘のチラシをティッシュに入れ配布。帰宅の労働者の波にもまれながらハンドマイクで訴え、取りに来る方も多くいました。11月6日も大崎駅巨大ビル近くで配布計画です。

【JR大塚駅北口で】

10月4日、CU東京本部は、JR大塚駅北口で、8人で、最賃宣伝行動に取り組みました。



訴えるCU本部宮本書記次長

寺川副委員長先頭に、春闘共闘のチラシ入りティッシュ250個を30分で配布。配布者に話しかけて来る人もおり、関心の高さを感じました。

【JR立川駅北口】

三多摩協議会は10月1日、立川駅北口で、最賃宣伝を10人で取り組みました。600枚を40分で配布、1013円の呼びかけに、若い人から「アルバイトも同じですか」など質問も寄せられました。



立川駅で横断幕でアピール

第11回大会、組合員数280人で開催！

地域労組こうとう第11回大会



9月28日（土）亀戸文化センターで、地域労組こうとう第11回定期大会が開かれ、代議員・来賓など63名が参加しました。小倉副委員長が開会挨拶、議長に入江さん、選挙運営に斎藤さん、資格審査に鴨志田さんを選出、議事に入りました。

挨拶にたった新野委員長は、全国一律再賃の重要性を強調、来賓としてCU東京・平山副委員長、佐伯区労連議長、東部法律・西田弁護士、江東総合法律・中村弁護士、共産党都議のあぜ上さんの5氏が挨拶。平山さんは「不安定雇用の拡大や賃金水準等の後退を打開し規制する社会的バリケードを作ることが労働運動の最大の課題」と述べました。

明乳争議団の村山さんとJAL争議団の細井さんが挨拶、提案された2018年度活動報告・会計報告・同監査報告を拍手で承認、続いて2019年度活動方針を川村書記長、予算を田辺会計が提案、2人から意見が出されたのち両提案を拍手で採択しました。

300人支部へ決意も

新役員選出後、恒例の懇親会。前東京地評労働相談室長の前澤さん、CU江戸川支部の宮澤さんと横田さんから挨拶、各テーブルごとに参加者が自己紹介。美味しい食べ物にお酒も進み、あっという間に19時になり、300人やろうの決意も語られ、閉会となりました。

【新役員】執行委員長・新野好雄、副執行委員長・小倉一男、同・清水啓子、同・中村 元、同・清水英明、書記長・川村好正、書記次長・松井優希、会計・田辺陽子、執行委員・青木正憲、同・入江由美子、同・小西千鶴子、同・古川敏也、同・清水のり子、同・関川貴幸、同・中島聖一、同・見上成宜、同・柳沢孝史、会計監査・丹木幸美

地域の労働者の権利を守る活動で 期待が広がってきた CU品川支部第10回定期大会



10月20日（日）品川労協2階においてCU品川支部第10回大会が開催され、来賓含め26名が出席しました。大会では、池野委員長の挨拶の後、来賓の日本共産党白石民男都議会議員から、「都知事選の動きやカジノ、羽田新ルート問題」、柴山品川労協事務局長から「羽田の問題は区民の命がかかっている、組合員を増やす事に成功を、労協も協力して行きたい」、平山CU東京副委員長からは挨拶を兼ねて「CU東京の到達と運動路線（四つの旗と四つの団結）」について資料を示して貰いながら、話して戴きました。佐藤書記長が経過・会計報告・方針を提起。

月間で6名を、12月カラオケレク

この中で「今年度後半は、労働相談が少なかったこと、組織拡大も頑張ったが脱退もあり、前大会より9名増であること。今大会まで70名の目標だったが未達成。CU東京の拡大月間提起（10月～11月）での目標6名の達成をやり、次大会までに80名を。共済のありがたみやレクを通じての仲間を増やす事。12月にカラオケレクを行う」など報告・提起、承認。

大会終了後の交流会では、組合員から仕入れた青森・新潟・茨城県産の黒毛和牛と鹿児島産黒豚ソーセージがメインの肉を焼きながらの焼肉食い放題に移り、各組合員の自己紹介兼ねての近況報告や労働問題の質問も、平山副委員長にも答えてもらい、最後はカラオケの12月の予定を決め終了。参加組合員も増え、労協2階では狭く、次の大会はどこにするか、うれしい悩みの大会でした。【新役員】委員長

池野隆、副委員長 船津斌瀨、書記長 佐藤盛雄、執行委員・丹伊田、恵寿（新）、高畑稔、南 陳栄、会計監査 武田よね子

東京土建一般労働組合と懇談

小番書記長、北川書記次長など出席

10月2日、けんせつプラザ東京で、東京土建一般労働組合と懇談しました。東京土建から小番書記長、北川書記次長、唐澤常任、CU本部から小倉委員長、高木書記長、宮本書記次長が出席しました。小倉委員長は、CU東京10周年、1350人に到達、労働相談活動も年間300件超え、「駆け込み寺」として頼りにされ、様々な人から相談が来ていること、支援にお礼をのべ活動を紹介しました。

小番書記長は、建設現場は引き続き劣悪で、労働安全、賃金の引き上げに力を入れている、主婦の会などでは、仕事を持っている人も増え、要求の多様化、組織的にも対応を進めていると話しました。高木書記長が、引き続きCUへの支援を要請、秋の1500人達成への協力、労働相談で連携し解決に奮闘していきたい旨を伝えました。



右から、北川書記次長、小番書記長、高木、小倉、宮本のCU東京の役員、

東京社保学校

とき 11月10日(日) 10時～

ところ けんせつプラザ東京

- 第1講義「2020代社会保障改革の行方と課題」
芝田 英昭 立教大学教授
- 第2講義「権利性が明確な『生活保護法』に」
林 治 弁護士
- 第3講義「都民によりそう明日の都立病院へ」
氏家 祥夫 都立病院の充実求める連絡会代表

#みんなのLife #生きさせる

11.10 TOKYO JACK

長時間労働なくそう
生活できる社会の実現

労働組合に入ろう

2019労働組合青年部大宣伝行動

2019年11月10日15:00～16:30

JR新宿駅東口アルタ前



東京都で自転車条例可決 来年4月から保険加入が義務化 東京労働共済会の自転車保険の案内を

東京都は9月の都議会で、都民に自転車保険の義務化を内容とする条例を可決しました。来年2020年4月の施行です。すでに埼玉県につづいて神奈川県でも実施、都内では豊島区が独自に施行しています。自転車事故による賠償が高額になっていることへの対応です。

東京労働共済会の自転車保険はこの賠償に対応した制度です。組合員に知らせ案内しましょう。約5000人の組合員が利用しています。組合がつくっている東京労働共済会に自転車保険があることを知らない人が多くいます。案内・お知らせをお願いします。

4900円で家族全員が保証対象です。現在、中途加入募集中です。(2020年7月から保険料が5200円になります。)

第6回 はたらく女性の東京集会2019

なくしたい! 貧困・格差・差別

第1部 みんなで声を上げよう

ミニ講演 上西充子 法大教授

第2部 みんなでリフレッシュしよう

笑いヨガ 講師 岩田由紀子

12月21日(土) 13:30 けんせつプラザ東京

「ご結婚おめでとうございませう」

三多摩の設立当時から顧問弁護士として毎月事務局会議で法的なアドバイスをいただく白根心平弁護士がご結婚、お祝いの会を9月28日(土)立川市内のレストランを貸切って催しました。お相手は医療関係に働く方、ホントお似合いのご夫婦です。会は佐藤義見委員長の乾杯、本部から高木書記長も駆け付け挨拶、若い二人の門出を祝いました。参加は親世代ばかりですが、弁護士への感謝の言葉や結婚生活の先輩方による余計なお世話も飛び交うお祝い?の場となりました。今後ともどうぞ宜しく気持ちをこめて。 参加者一同。



■国会が始まる。安倍首相の所信表明がひどい。都合のいい数字を並べ実態を隠す。批判浴びた「正社員130万人増えた」を繰り返す。非正規が304万人増えたことは言わない。■経済の立て直しに最賃の大幅引き上げは世界の常識。CUは各地で宣伝に取り組んだ。東京1013円に反響がある。消費税引き上げて帳消しだ。政治転換が切に求められる。